

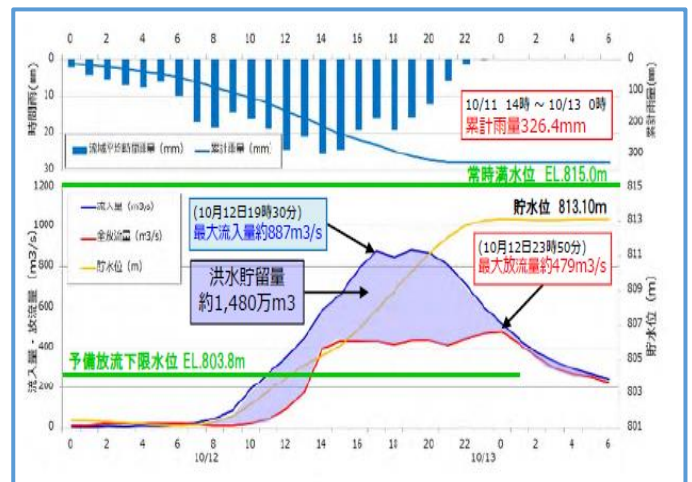
『豊かで活力ある安全安心な川路』の実現！

2021年（令和3年）10月6日

9月24日「市長と語るまちづくり懇談会」が開催されました。9月28日付の南信州新聞1面に大きく報道して頂きましたので、ご覧になった方も多いと思いますが、その中で牧内水防組合長の要望が大きく取り上げられておりました。特に「新建新聞」の36災特集号に寄稿された白鳥伊那市長の「令和元年10月の台風19号の際、美和ダムで初めて異常洪水時防災操作が行われ、毎秒1,100tの水を流す決断をしたが、下流への影響を考えると顔が青ざめた。」との記事に対し、川路としては大変恐ろしく重要な決定であり、是非佐藤市長からもその時の判断の背景を白鳥市長にお聞き頂きたいとのお願いでした。佐藤市長からは、期成同盟会でお会いした際にしっかりと背景をお伺いしたいとの回答を頂きました。美和ダムの洪水調整能力は1620万tありますが、この台風19号の時は、幸い進路が東にそれ、最大流入量887m³/sに対し、最大放流量479m³/sと洪水調節機能がうまく機能でき、下流の水位を50cm低減する事が出来たそうです。しかし、洪水貯留量は1480万tと限界近くまで来ていたことは事実であり、もう少し雨が長引けば、限界の1620万tを超えてしまい、想定された1100m³/sの水量を流さざるを得ず、36災を超える水量が川路地区に流れてきたことは容易に想定できます。現在川路は河川掘削の効果もあり、36災と同等の水量なら問題ありませんが、この時、台風19号の進路が僅か西側にずれていれば、天龍峡上流部の2日間雨量は513mmとなり、ハザードマップのレベル2（605mm）に近い値となることが報告されております。白鳥伊那市長も「新建新聞」の寄稿の中で、戸草ダムの必要性を強く訴えておられますが、現在建設時期保留となっているこの戸草ダムの洪水調整能力は2100万tであり、異常気象によるリスクを回避するには、この戸草ダムの早期建設は絶対条件であり、川路まちづくり委員会としても、川路水防組合と協力して、今後あらゆる機会を通じて戸草ダムの建設を訴えて参りたいと考えております。



川路地区「市長と語るまちづくり懇談会」



令和元年19号台風の際の美和ダム異常洪水時防災操作

洪水年月日	要因	実績ダムピーク流量 (m ³ /s)			調節率 (%)
		流入量	最大流入時放流量	調節量	
S33.9.18	台風21号	570	123	447	78
S34.8.14	台風7号	1182	306	876	74
S36.6.27	梅雨前線 36災	741	742	-1	0
S45.6.15	梅雨前線	506	421	85	17
S57.8.1	台風10号	1321	563	758	57
S59.9.11	台風18号	664	465	200	30
S58.9.27	台風10号 58災	659	473	186	28
H19.9.6	台風9号、梅雨前線	569	281	288	51
R1.10.12	台風19号 (実際)	887	442	445	50
R1.10.12	台風19号 (想定)	1100	1100	0	0

美和ダムの洪水調節の実績



市長と語るまちづくり懇談会

飯田市からは佐藤市長を始め、高田副市長、米山建設部長、田中危機管理室長、串原産業経済部長、塚平市民協働環境部長にご参加頂き、懇談会が行われました。牧内水防組合長から前述のお願いの他に、河川掘削の継続的实施と戸草ダムの早期建設をお願いし、佐藤市長から地域の歴史を踏まえ、しっかりとフォローしていく旨の回答を頂きました。続いて原田川路土地利用計画検討委員会委員長より、2年間にわたり51名の委員で検討して来た川路土地利用計画に関して、その検討結果を説明をした後、里山保全に関して飯田市からのアドバイスを求めました。飯田市からは、個人個人の所有の山林の整備は難しいが、管理組合等のまとまった組織となれば、里山管理費用の補助をもらえる等、色々なメリットがある点をアドバイス頂きました。この「里山管理組合」構想に関しましては、今後タウンミーティング等の機会を通じて、地域の皆さん及び地権者の皆さんと検討をして参りたいと考えております。まとめとして、佐藤市長から「川路の居住憲章や土地利用計画検討の話をお聴きして、先を見据えた取り組みに川路の底力を感じました。市も一緒になって考えて参りたいと思います。」とお話して頂きました。治水と里山保全に関して、懇談会だけで終わることなく、この機会を起点に飯田市の支援を頂きながら、川路まちづくり委員会としてしっかりと取り組んで参ります。



「市長と語るまちづくり懇談会」佐藤市長答弁

タウンミーティングが再開されます

コロナ禍により延期しておりましたタウンミーティングですが、警戒レベルが下がりましたので、以下の様に実施致します。10月12日：2区、14日：3区、16日：4区、18日：5区、19日：6区、22日：7区、25日：8区。今回ご説明し、皆様のご意見をお聴きしたい内容は、①今年度の主な事業と半年間の進捗状況、②川路水害予防の日制定について、③土地利用計画の概要について、④川路里山管理組合について、以上4項目です。是非多くの皆様のご参加をお待ち致しております。



天龍峡マルシェが行われます

10月24日（日曜日）天龍峡マルシェが行われます。川路まちづくり委員会も協賛団体の一員として協力して参ります。今年は龍江地区でアウトドアフェスティバルが同日開催されます。コロナも今のレベルを維持でき、秋晴れの中、無事に開催できます様に祈っております。是非お出掛け下さい。



ふるさとの心と味を届けよう！

コロナの第5波はようやく落ち着いて参りましたが、その影響はまだまだ続いております。遠くのお子さんやお孫さんに長い間会えていない方も多いと思います。そこでまちづくり委員会では、好評だった「ふるさとを送ろう」の第3弾、「ふるさとの心と味を届けよう！キャンペーン」を実施します。全戸配布のチラシを参考に、ふるさとの思いを送って下さい。送料はまちづくり委員会が負担します。＜期間＞2021年10月15日～11月30日、＜対象＞飯田下伊那地域外に住んでいる子供、孫、兄弟など川路出身の方、＜指定業者＞ヤマト運輸株式会社：キャンペーン専用の送り状が必要（川路自治振興センターで各家庭に2枚までお渡しします）野菜、果物、お米等を是非送ってあげて下さい。